

2018年11月11日開催  
DREAM AS ONE. × 父子チャレンジアカデミー-SPECIAL FES.

代々木公園陸上競技場（子ども328名/保護者420名）



開催会場は、代々木公園陸上競技場。当日は、立冬を過ぎたことも忘れるほどの暖かい小春日和。

9時15分、受付が始まると抽選で参加証を射止めた親子が続々と来場。國學院久我山高等学校陸上部の生徒さんにお手伝いいただき、参加者には、参加者パスポートと赤、青、黄、緑、オレンジの5色のチームカラーに色分けされた名札をお渡しします。



10時いよいよスタートです。司会進行は、日本テレビアナウンサーの鈴木健さん。鈴木健さんの軽妙な司会で指導アスリートをご紹介します。そして、為末大さんの号令で準備運動、交流ゲームが始まりました。



程よく体も温まった後、いよいよ、各種体験指導開始です。チームごと5種類の競技を順番に5種目すべて体験します。かけっこ指導は、400mハードル走日本記録保持者の為末大さん。為末さんの記録は、2001年より17年間破られていない偉大な記録となっています。



走り幅跳び指導は、キングオブ陸上と称される陸上十種競技でアジア大会2大会連続金メダリストの右代啓祐さん。実技披露では、身長196cmの大きな体が宙に舞うとワー歓声が沸き、保護者の皆さんは、すかさずスマホ撮影。体が大きくて優しい右代選手は、子ども達に大人気です。



走り高跳び指導は、ジャカルタアジア大会銅メダリストの戸邊直人選手。走り高跳び選手ならではのスラッと伸びた身長194cmの戸邊選手が舞うように跳びます。実技披露では、参加者の皆さんの拍手コールの中で、190cmのバーを軽々成功させ喝采を浴びていました。



ウィルチェアラグビー指導は、リオパラリンピック銅メダリストの今井選手、島川選手のお二人と今年から日本代表強化選手に加わった若手注目株 中町選手の3名です。ルールを学び、体験後は5対5のチームに分け実践。ゲーム対戦は、ひととき盛り上がります。



義足体験指導は、リオ4×100mリレー銅メダリストでジャカルタパラアジア大会200m走金メダリストの佐藤圭太さん。中学3年生の時に骨肉腫で足を切断したお話に皆さん真剣なまなざしで耳を傾けていました。初めて義足を試みる参加者は、装着後、恐々とその感触を体験していました。



交流運動会では、今季日本最速の山縣亮太選手も青組のチームリーダーとして参戦。混戦の結果、玉入れ競技は戸邊選手をリーダーに率いる緑チームの勝利となりました。



ミックスリレーは、トラック1周50m×8区分を車いす、車いす、二人三脚、かけっこの順にバトンを繋ぎます。さすがのトップアスリート達もウィルチェアラグビー選手の車いすさばきには、かないません。



最後は、本気リレー。50m×8区分を抽選で選ばれた7名の児童にアスリートがアンカーを務めます。チームリーダーとしてチームの勝利のために本気の走りを魅せていただきました。速さを皆、実感です。



為末さんのお話には山縣選手も加わり、子ども達からはスポーツ記者顔負けの質問が。そして、最後は、参加者皆さんの頑張りを称え合いました。楽しい思い出の1ページになりましたね。

